

2022年度 研究集会
日本雑草学会 学術研究部会
小規模農業における雑草の利用管理研究会

世話人 宮浦理恵（東京農業大学）
山口裕文（大阪府立大学）

モンスーンアジアにおける小規模農業生産は、農畜複合によって植物バイオマス有家畜の餌として循環させて地域植生の管理と資源循環を持続的に運営する。しかし、日本における農畜複合による雑草の利用管理の知恵は戦後の近代化技術により途絶え、昨今、都市近郊農業では雑草の管理に近隣住民への配慮を必要としている。また、担い手不足等の理由から農業生産が困難になった場合、貸農園や行政の委託管理などにより地域住民の家庭菜園や食農教育に利用し農地を維持するケースも見られる。本研究集会では、企業によって運営されている神奈川県内の貸し農園のアドバイザーを務める森田亜貴氏をお呼びし、家庭菜園における雑草生態を見極めて農地を管理する事例をお話いただき、雑草の利用管理を議論したい。

なお、本研究会は、日本雑草学会の補助を受け開催します。日本雑草学会員に限らず一般の方も無料で参加頂けますが、対面参加は学会員に限定させていただきます。

日時：2023年1月12日(木)15:30～17:30

開催方法：対面とZoomのハイブリッド（事後動画配信なし）

感染症予防の観点から、対面参加は日本雑草学会会員限定

対面会場：東京農業大学世田谷キャンパス（東京都世田谷区桜丘1-1-1）
1号館5階544教室

参加費：無料

15:30～15:35 世話人挨拶

15:35～16:35

題目：野菜と雑草により構成される植生空間としての家庭菜園の管理

講演者：森田亜貴氏

京都大学農学部で雑草学を専攻（大学院修士課程修了）

（株）マイファーム 自産自消アドバイザー

2022年1月から2023年1月発行の、家の光協会の家庭菜園雑誌『やさい畑』で、連載記事「草生栽培入門」全7回を監修

16:35～17:15 コメント

東京農業大学 農学部 デザイン農学科准教授 御手洗洋蔵氏

東京農業大学 農学部 生物資源開発学科教授 松嶋賢一氏

17:15～17:30 総合質疑

申込み：以下のフォームにてお申し込みください【1月9日(月)申込締切】。

登録されたメールに 対面開場入構証またはZoom URL をお送りします。

<https://forms.office.com/r/Ngy9WrqfXC>

